



# 緑の募金事業候補応募書

令和4年12月15日

公益社団法人 国土緑化推進機構  
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等	球磨林業奨学会
〒	868-0101
住所	熊本県球磨郡相良村四浦東2081-1
法人・団体の名称	球磨林業奨学会
代表者氏名	会長 堀川 泰注

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

## 記

### 1. テーマ（募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載）

(1) 安全・安心な生活環境の保全への貢献（SDGs 目標 6、11 貢献）

### 2. 事業名（簡潔に記載。20字以内）

実践！災害に強い森づくり～がんばろう！人吉球磨～

### 3. 事業目的（この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内）

- 1 令和2年7月豪雨復興を目指した、災害に強い森づくりの実践
- 2 地域の木質資源を有効に活用した、木育活動の実践

### 4. 事業内容（募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付）

- 1 令和2年7月豪雨復興を目指した、災害に強い森づくりの実践  
活動の拠点である熊本県人吉・球磨地域は、豊かな森林資源に恵まれ、林業県熊本を代表する地域であるが「令和2年7月豪雨」をきっかけに、災害に強い森づくりの実践が喫緊の課題である。地元で森林・林業を学ぶ高校生を対象に、森林環境教育や実践的な間伐保育作業を経験させ、環境への貢献と次世代育成に寄与したい。  
→地元で林業を学ぶ高校生と共に、学校演習林を用いたチェーンソーや高性能林業機械を用いた間伐や保育作業の実施※二酸化炭素吸収量の認証！  
→東京大学や熊本県立大学と連携した森林保水力の調査研究※水源涵養機能の評価！  
→「県民参加の森づくり」「企業・法人等との協働の森づくり」推進のためのフィールド整備  
→地元こども園や保育園、幼稚園児らと育む「広葉樹の森づくり」の実践
- 2 地域の木質資源を有効に活用した、木育活動の実践  
地域の財産である木質資源を最大限に活用し、地元の高中生や子どもたちに「ものづくり」を提供することで、木の良さに触れ木材利活用の輪を広げたい。また、身の回りにある製品を木質化することで、「人吉・球磨版ウッドチェンジ」を推進し、カーボンニュートラルを進めると共に、資源循環型社会の実現に力を注いでいく。  
→地域の材を地域で活用する「地産地消」を推進  
→人吉・球磨産の木材を活用したものづくり活動を、次世代を担う若者と共に実践  
→「ウッドチェンジ」の実践※二酸化炭素固定量の見える化！

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

## 5. 事業場所（位置図を別途添付）

(都道府県・市町村・地番)  
熊本県球磨郡あさぎり町須恵小馬床4028-15  
(所有者)

全体面積	約23	ヘクタール
実作業面積	約2	ヘクタール

## 6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

別添参考資料参照

## 7. 事業実施希望期間

令和5年2月 ～ 令和6年1月

## 8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
令和5年2月	どんぐり苗木育成 苗畑管理 木育活動
令和5年3月	植樹活動 しいたけ種駒打ち 木育活動
令和5年4月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林） CSR活動協力 木育活動
令和5年5月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林） CSR活動協力 木育活動
令和5年6月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林） 保育（下刈り・つる切り）
令和5年7月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林） 木育活動
令和5年8月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林）
令和5年9月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林） 木育活動
令和5年10月	森林の保水力調査（針葉樹人工林・広葉樹二次林） どんぐり採取 しいたけ収穫
令和5年11月	しいたけ収穫 木育活動
令和5年12月	植樹活動 木育活動
令和6年1月	間伐研修 高性能林業機械研修 木育活動

## 9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。  
必要に応じて参考資料を添付）

本会が活動を支援している、熊本県立南稜高等学校・総合農業科環境コースでは、森林・林業や木材について専門的に学習し、林野庁や各都道府県庁、市町村等の自治体や地元森林組合や林業事業体に就職し、地域に根ざし活躍し続ける人材を育成している。生徒たちの活動実績は目覚ましく「令和3年度全国がんばる林業高校生表彰」において林野庁長官表彰（最優秀賞）受賞や九州森林管理局主催の「森林・林業の技術交流発表大会」において3年連続最優秀賞を獲得するなど、高い評価を受けている。先輩から後輩に引き継がれていく研究活動と、本会の継続的な支援により、事業完了後も人吉・球磨地域の林業振興及び活性化に向けて永続的な取り組みに繋がっていくものと

## 10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入の部	緑の募金交付金	1,000	
	自己資金	100	
	その他助成金	0	
	合計	1,100	
支出の部	行動費	220	交通費等
	環境整備費	130	森林整備費等、
	資材費	400	チェーンソー、ソーチェーン、燃料、木材費等
	資材等運搬費	100	燃料費等
	指導者経費	100	謝金等
	事務費	50	事務用品等
	交付金計	1,000	
	自己資金等計	100	
合計	1,100		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

## 11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	昭和35年4月
連絡先 電話番号	0966-36-0111
FAX番号	0966-36-0112
E-mail	sagarashinrin2@sgrbb.jp
ホームページ	
会員数	35名
活動目的	地域林業の振興と発展
主な活動内容	人材育成・支援
主な活動地域	人吉・球磨地域（熊本県）
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	<p>本会は、昭和35年の発足当初から地域林業の振興を図るため、将来、人吉球磨地域の林業技術者や後継者となる人材を育成することを目的に、地元で林業を学ぶ高校生を対象にした支援を継続して行っている。これまでに、175名もの優秀な人材を地域の森林・林業・木材関連産業へと送り出し、地元産業への貢献や環境を守り育む人材の育成に寄与している。</p> <p>令和4年度（2022年度）は熊本県「くまもとの木とふれあう木育推進事業」を活用し、地域資源を活用した木育活動を実践し、高校生と共に約4,000人の子どもたちに「ものづくり」や「木に触れる」取り組みを展開した。また、災害に強い森づくりの実現に向けて、地元の保育園児らと共に、約3,000本の広葉樹の苗木づくりにも取り組み、球磨川上流域への植樹・管理を行っている。</p>

## 実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標		チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	貧困をなくすこと	✓	ターゲット1.5：2030年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靱性（レジリエンス）を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。
2	飢餓をなくすこと		
3	健康であること		
4	質の高い教育	✓	ターゲット4.7：2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
5	ジェンダーの平等	✓	ターゲット：5.b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
6	清潔な水と衛生	✓	ターゲット6.6：2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する
7	再生可能エネルギー	✓	ターゲット4.5.8：資源効率を断続的に改善させ、経済成長と環境悪化の分断を図る。若者や障がい者すべての人を対象に働きがいのある人間らしい仕事を提供する。女性の労働権利を保護し安全・安心な労働環境を提供する
8	適切な良い仕事と経済成長	✓	ターゲット4.5.8：資源効率を断続的に改善させ、経済成長と環境悪化の分断を図る。若者や障がい者すべての人を対象に働きがいのある人間らしい仕事を提供する。女性の労働権利を保護し安全・安心な労働環境を提供する
9	新しい技術とインフラ		
10	不平等を減らすこと		
11	持続可能なまちと地域社会	✓	ターゲット3.4.5.7：誰もが参加して持続可能なまちづくりができるようにする。自然遺産の保護・保全の努力を強化。水害や災害による死者や被災者を減らす努力をする。緑地や公共スペースへの普遍的なアクセスを提供する。
12	責任を持って生産し、消費すること	✓	ターゲット2.4.5.8：天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。廃棄物の管理を環境上、適正なものにする。廃棄物の予防・削減・リサイクル及び再資源化により、廃棄物を大幅に減少させる。ライフスタイルに関する情報と意識をもつよう働きかける。
13	気候変動への対策	✓	ターゲット1.2.3：気候関連災害や自然災害に対する適応力を強化する。気候変動対策を計画的に盛り込む。気候変動の緩和に関する教育・啓発をし、人的能力を改善する。
14	海のいのちを守ること	✓	ターゲット1.2.：陸上活動により海洋汚染を防止する。沿岸の生態系の回復の為、取り組む。
15	陸のいのちを守ること	✓	ターゲット1.2.3.4.5.8.9：陸上生態系の保全・回復・持続可能な利用を確保する。森林減少を阻止する。劣化した土壌を回復する。生物多様性を含む山地生態系保全を確実に。絶滅危惧種を保護し絶滅の防止の為、対策を講じる。外来種の侵入を防止する。生態系と生物多様性の価値を地方戦略に組み込む。
16	平和で公正な社会		
17	目標のために協力すること	✓	ターゲット7.16.17：環境に配慮したノウハウの普及・拡販を促進する。パートナーシップによって補完しつつ持続可能なパートナーシップを強化する。公的・官民・市民のパートナーシップを奨励・推進する。